

GSC022-P04

会場:コンベンションホール

時間:5月23日 14:00-16:30

## 2010年度「地質の日」浜中町ジオツアー「浜中誕生のひみつ！発見ジオツアー」の企画と実践

### Planning and practice of the geo-tour deal with geological discovery of Kiritappu Marshy Grassland, Hamanaka Town held

重野 聖之<sup>1\*</sup>, 高井正子<sup>2</sup>, 石井 正之<sup>3</sup>, 中川 充<sup>4</sup>, 七山 太<sup>4</sup>, 吉川 秀樹<sup>4</sup>

Kiyoyuki Shigeno<sup>1\*</sup>, Ayako Takai<sup>2</sup>, Masayuki Ishii<sup>3</sup>, Mitsuru NAKAGAWA<sup>4</sup>, Futoshi Nanayama<sup>4</sup>, Hideki Yoshikawa<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 茨城大学大学院理工学研究科, <sup>2</sup> 霧多布湿原センター, <sup>3</sup> 明治コンサルタント(株), <sup>4</sup> 産業技術総合研究所

<sup>1</sup>Ibaraki University, <sup>2</sup>Kiritappu Wetland Center, <sup>3</sup>Meiji Consultant, <sup>4</sup>Geological Survey of Japan, AIST

私達は、2010年度の「地質の日」企画として、浜中町の地元民にとって日頃見慣れた風景をジオサイトとしてあらためて認識し直してもらうことを目的とした町民対象のジオツアーを、霧多布湿原センター（高井が担当）をホストとして企画実施した。この際、町民に対して浜中町の生い立ちや自然災害などを専門家から直接学ぶ生涯学習の機会に加え、浜中町から要望があった観光ガイドの人材育成講習会も併せて行うことで、より町のニーズに応えることとした。

2010年11月7日午前10時の開演後、地元浜中町を話題とした中川による「浜中町を地球の生い立ちから見てみよう」、および石井による「浜中町周辺の地質イベント」と題する2件の普及講演会を行った。その後、浜中町役場のバスで、普及講演で概説した8ヶ所のジオサイト、Stop 1: 浜中町に眠る石英モンゾニ岩（浜中採石場）、Stop 2: 根室層群の海底地すべり層と最近の地震による落石（榊町トンネル）、Stop 3: 霧多布湿原の形成（霧多布湿原センター）、Stop 4: 巨大津波の痕跡（霧多布湿原）、Stop 6: ピリカウタ地すべり（厚岸町ピリカウタ）、Stop 7: 絶滅したサンゴ草と沈みゆく牡蠣島（厚岸湖湖岸と牡蠣島）、Stop 8: 別寒辺牛湿原のゴーストフォレストは巨大地震の予兆か？（厚岸町別寒辺牛湿原）を順に巡り、当初の予定通り午後4時に解散した。当日は、この時期の道東地域では珍しい程の暖かさで晴天にも恵まれ、遠く横浜市からの方々も含め、総計40名ほどの参加者があり、案内者共々に充実した1日となった。

本ポスター発表においては、当日町民他から頂いたアンケート結果も交えて、我々の考える「地元住民に根ざした草の根的な地球科学分野のアウトリーチ活動」に関する取り組みを、浜中町ジオツアーの企画と実践を例として具体的に示してみたいと思う。

キーワード: ジオツアー, 地質の日, 霧多布湿原, 浜中町, 北海道東部

Keywords: Geo-tour, Geology day, Kiritappu Wetland, Hamanaka Town, Eastern Hokkaido